



メディカル・ケア・サービス、新子会社「オリーブライフ」を設立

—介護業界から、空き家問題に立ち向かいます—

2016年1月現在、27都道府県268か所の介護事業を展開するメディカル・ケア・サービス株式会社（MCS 本社：さいたま市大宮区、代表：高橋誠一、以下「当社」）は、介護における空き家対策事業を担う子会社として「オリーブライフ株式会社」を設立いたしました。

オリーブライフ株式会社は、介護施設への入居等で空き家となったご自宅を活用し「豊かな老後」をサポートする社内ベンチャーです。当社が属する三光ソフラングループ内の各不動産会社と連携し、不動産活用（賃貸や売却等）、住み替え支援（リフォームや建て直し等）、資産整理や相続対策を行います。

顧客の介護にかかる状況を十分に理解したうえで、不動産運用を提案できるノウハウをもつ、数少ない企業であると考えます。

子会社の概要

- ・ 社 名：オリーブライフ株式会社
- ・ 所 在 地：〒330-0852 埼玉県さいたま市大宮区大成町 1-212-3
- ・ 設 立：2015年11月19日
- ・ 代 表 者：代表取締役 高橋 誠一
- ・ 資 本 金：1000万円



オリーブライフ株式会社設立のポイント

- 全国820万戸あるといわれる日本の深刻な空き家問題に立ち向かいます。
- 介護事業を展開するメディカル・ケア・サービス株式会社が行う、初の空き家対策事業です。
- グループ系列の不動産会社と連携することで、不動産と介護の豊富なノウハウを生かした提案が可能です。

設立の背景：820万戸を超える日本の深刻な空き家問題

人口減少が進む日本では、空き家が深刻な社会問題です。総務省が発表した「住宅土地統計調査」では、2013年現在820万戸が空き家であり、年々増加の一途をたどっています。2015年には、地震や台風など災害による倒壊や景観および衛生上、地域住民の生活環境の保全を図るために、「空家対策の推進に関する特別措置法」が施行されました。これにより、「特定空き家」に認定されると固定資産税が6倍になる等の各種措置が取られることになりました。

また、2015年に発表された国土交通省「空家実態調査」によると、空き家所有者の55.6%が65歳以

上の高齢者です。高齢者の施設入居が一般化し、より空き家が増加することが考えられる昨今、介護を取り巻く事業で社会に貢献してきた当社が取り組む意義があると考えております。

当社が提供する価値：超高齢化時代に住まいを通じた「豊かな老後」を

少子高齢化が進む中、介護保険法改正ごとに利用者負担は増加しています。その一方で、年金支給額は減少傾向にあります。厚生労働省の「厚生年金保険・国民年金事業の概況」によれば、2009年から2013年にかけて厚生年金受給月額が約8,000円下降しています。暮らし向きが心配な高齢者も増加しており、2015年の内閣府「高齢者の日常生活に関する意識調査」では、33.2%の高齢者が生活のための収入が不安であると回答しています。当社では空き家活用により、固定資産税の増加を防ぐだけでなく、ご高齢者の暮らし向きを向上させることが狙いです。

オリーブライフ株式会社は、介護事業と不動産事業を連携協力する、三光ソフラングループ内の総合的な窓口機能を担います。施設入居に際して空き家となったご自宅を活用し「入居費用に充てたい」「家族と長く住める家にしたい」といったご要望はもちろん、ご高齢になるにつれて発生する住居のニーズや課題に幅広く対応します。

日本国内で増加する空き家を資源として活用し、負担増加が見込まれる介護費用の軽減を目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

オリーブライフ株式会社 担当 渋谷

TEL.03-6895-7260 FAX.03-6895-7267

ADD.〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル 13階

メディカル・ケア・サービス株式会社

1999年に埼玉県さいたま市で創業。介護施設のグループホーム「愛の家」や有料老人ホーム「アンサンブル・ファミニュー」など、2016年1月現在、27都道府県268か所の介護事業所を運営している。「人と人とのつながりを、介護を超えるチカラにする」というビジョンを掲げ、介護施設の運営だけでなく海外事業やICT活用など、介護を多角的な視点で捉え事業を展開している。

所在地：〒330-0852 埼玉県さいたま市大宮区大成町 1-212-3

設立：1999年11月24日

代表者：代表取締役 高橋 誠一

従業員数：5,224名（2015年12月現在）

URL：<http://www.mcsg.co.jp/>

以上